



Toyama New Industry Organization

# イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による富山ならではの新産業の育成・創出

## 6. 産学官連携の推進

富山県が策定した新・富山県ものづくり産業未来戦略を推進し、県内企業の競争力を強化するため、成長産業分野における新たな技術・製品開発に向け、最先端の技術に関する以下の4つの研究会やプロジェクト等を行います。

### 次世代モビリティ研究の推進

CASE(電動化、自動運転技術等)関連技術など次世代自動車関連産業の創出・育成に関する技術セミナーや技術交流会の開催、先遣地視察等を行い、研究開発や関連ビジネスへの参入を推進します。

### ロボット技術研究ネットワークの推進

次世代ロボット関連産業の創出、育成、ロボットの利活用を促進するため、情報提供、情報交換の場を提供し、セミナー開催等により、ネットワークを推進します。

### 医薬工連携イノベーション創出の推進

医療現場等における多数のニーズをもとに、医薬品関連企業やものづくり企業と医療・介護関係者、医療機関等が連携し、イノベーション創出を推進します。

### データ駆動型社会の実現に向けた技術の普及・活用促進

上記3分野を含む分野横断的な技術分野として発展・普及が進むAI、ビッグデータ、5G等の先端技術に関する技術セミナー等の開催を行い、最新の技術情報を提供します。

### アルミ産業成長力強化戦略の推進

高機能素材であるアルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの推進やインターンシップや海外技術者との交流を通じた人材育成等を実施します。

### ヘルスケア産業育成創出の推進

ヘルスケア産業研究会を設置し、セミナー開催、コーディネーターによるマッチング活動、ヘルスケア製品開発の支援等を行います。

### 産学官連携型ヘルスケア製品開発支援

委託額	500万円/年
委託期間	2箇年度以内

### 課題解決型ヘルスケア製品開発支援

委託額	500万円/年
委託期間	1年度以内

### 医薬バイオ地域イノベーションの推進

地域イノベーション戦略支援プログラム(北陸ライフサイエンスクラスター)やその他関連した国・県の公募事業の研究成果等の技術移転・事業化を支援します。

### とやまナノテククラスター技術移転・事業化の促進

地域イノベーション戦略支援プログラム(とやまナノテククラスター)での取り組みについて、PR活動を通じ、研究成果の技術移転・事業化を促進します。

### IoT・AI活用等生産性向上支援

IoT等に関する総合的な初期相談対応、出前講座を実施します。また、IoT等活用人材の育成研修、企業へ専門家を派遣しIoT等を活用した現場改善の提案を実施します。

## 7. 新産業・新技術の創出支援

### 産学官オープンイノベーションの推進

#### ● 新商品・新事業創出枠

バイオ、深層水、環境・エネルギー、ものづくり、航空機、医薬工連携、次世代自動車、ロボット、ナノテクなどの成長分野を中心に、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新事業創出に結びつく研究開発を支援します。

委託額	200万円以内
委託期間	1年度内



**医薬工** 小児用小型錠剤（ミニタブレット）製造用の打錠杵臼の開発（産業機械メーカー・富山県産業総合研究開発センター）。



**ものづくり** 食品衛生法に適合する銅製物ウイスキー蒸留器（ポットスチル）の開発（大型鋳物製造業&富山県産業技術研究開発センター）。

#### ● 新ものづくり戦略推進枠

産学官グループから研究開発テーマを公募し、先端技術の実用化に向けた製品開発やCNF・高機能素材の開発・加工に係るコア技術の展開・事業化を支援します。

委託額	500万円／年以内
委託期間	2箇年度以内

#### ものづくり研究開発支援 （とやま中小企業チャレンジファンド事業）

県内中小企業者（グループ含む）の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助成率	1/2
限度額	200万円
助成期間	最長2箇年度

#### 戦略的基盤技術高度化支援（サポイン）

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業に関し事業管理機関として支援します。

CASE

2

株式会社北陸エンジニアプラスチック

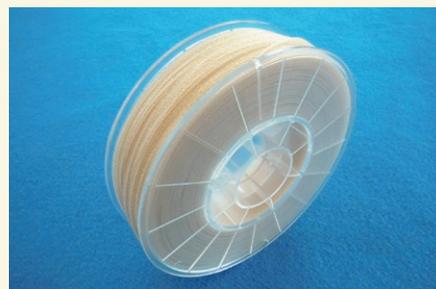
水越 正之 社長

- ▶ P.7 ● 産学官オープンイノベーション推進事業
- ▶ P.7 ● ものづくり研究開発支援事業

### 開発型企業が取り組む終わりのなき挑戦 高性能新プラスチック素材の開発を目指して

日本で初めて3Dプリンター用フィラメントをつくった北陸エンジニアプラスチック。セルロースナノファイバーを複合化した、高性能フィラメントの開発に臨んだ。物性が異なるものを均一に複合化するには、高度な技術や知見が必要となる。同社はその開発にあたって「産学官連携推進事業（令和2年度 産学官オープンイノベーション推進事業に改称）」の支援を受け、同社独自のノウハウに富山県産業技術研究開発センターの科学的な知見を加え、配合率の探査や性能評価の試験などを実施。その結果、目標に掲げた強度をクリアするフィラメントの開発に成功した。

その開発中に、ある機械メーカーから「セルロースナノファイバー配合より、剛性の高いプラスチック素材を開発してほしい」と要望が入り、同社ではプロジェクトチームを設置。「ものづくり研究開発支援事業」の採択も受けて試作に乗り出した。「これができるれば、自動車用の部品などにプラスチック製品が採用される可能性がある」と水越社長は語り、新しい複合素材に期待を寄せた。



◀ 同社が開発した樹脂とセルロースナノファイバーを複合化した3Dプリンター用フィラメント。ちなみにセルロースナノファイバーは、鉄の1/5の比重だが、強度は鉄の5倍といわれている。

▼ 「セルロースと樹脂は、極端にいうと水と油。それを均一に混ぜるのが当社の技術」と語る水越正之社長。



▲ 右側のベージュ色がかかった造形物が、樹脂とセルロースナノファイバーを複合化したフィラメントによりつくられている。



## 8. 富山県ものづくり研究開発センター

### ● 富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。

10m法の電波暗室、最先端設備等設置スペースであるデジタルものづくりラボ、高機能素材ラボ、CNF製品実証試作ラボ、製品機能・環境負荷評価ラボ、オープンイノベーション・ハブと、研究開発スペースである開発支援棟で構成されています。



### ● 最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自らが操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

### ● 研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

### ● 実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

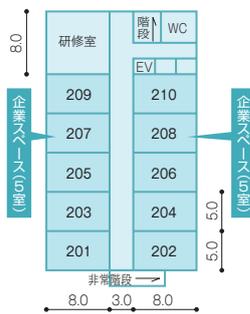
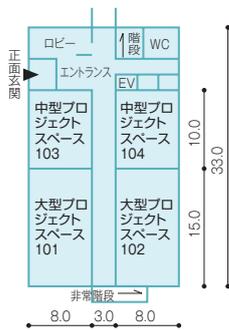
### ● 異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

### ● 開発支援棟の研究スペース

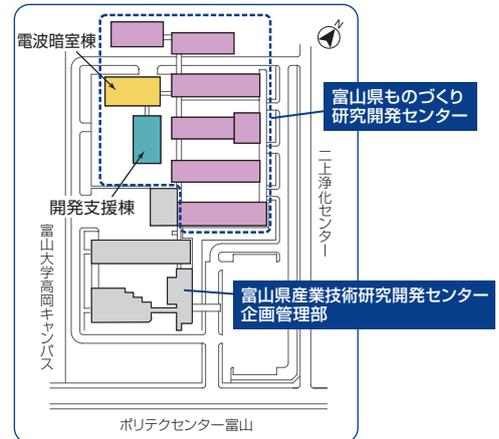
カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

[1階]		[2階]	
プロジェクトスペース		企業スペース	
使用料金	80㎡(2室) 月額 184,300円	使用料金	40㎡(10室) 月額 92,100円
	120㎡(2室) 月額 276,500円		



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。

### ● アクセス



高岡市二上町122  
 (富山県産業技術研究開発センター敷地内)  
 TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283